



# Red Hat Decision Manager 7.2

## Red Hat Decision Manager 7.2 のリリースノート

リリースノート



# Red Hat Decision Manager 7.2 Red Hat Decision Manager 7.2 のリリース ノート

---

## リリースノート

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

## 法律上の通知

Copyright © 2023 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Release\_notes\_for\_Red\_Hat\_Decision\_Manager\_7.2.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

本書は、Red Hat Decision Manager 7.2 のリリースノートです。

## 目次

はじめに .....	3
第1章 製品の概要 .....	4
第2章 新機能 .....	5
2.1. コンテナのサポート	5
2.2. ビジネスアプリケーションジェネレーター	5
2.3. DECISION CENTRAL	5
2.3.1. 実験的プロパティ管理ページ	5
2.3.2. SSH キーストアのサポート	5
2.4. デシジョンエンジン	5
2.4.1. ルールユニット	5
2.4.2. デシジョンエンジンでのマルチスレッド評価	6
2.4.3. KIE セッションでカレンダーを宣言的に設定する機能	7
2.5. DECISION SERVER	7
2.5.1. Decision Manager コントローラー REST API 用の Swagger インターフェイス	7
2.5.2. DMN (Decision Model and Notation) モデル	8
2.5.3. Decision Model and Notation (DMN) プロジェクトの実行可能モデル	8
2.5.4. Decision Server での KIE コンテナの非アクティブ化	9
2.5.5. Decision Server のフォームレンダリングのサポート	9
2.6. RED HAT BUSINESS OPTIMIZER	9
2.6.1. 制約の重みの定義	9
2.7. OPENSIFT	9
2.7.1. OpenShift デプロイメントでの LDAP ロールマッピング	9
2.7.2. イミュータブル OpenShift デプロイメントでの KJAR サービス	9
2.7.3. OpenShift でのトライアルデプロイメントにおける CORS のサポート	10
第3章 テクノロジーレビュー .....	11
第4章 既知の問題 .....	12
4.1. インストーラー	12
4.2. DECISION CENTRAL	13
4.3. DECISION SERVER	15
4.4. OPENSIFT	15
第5章 RED HAT DECISION MANAGER 7.2.0 で修正された問題 .....	17
5.1. インストールシステム	17
5.2. DECISION CENTRAL	17
5.3. デシジョンエンジン	17
5.4. DECISION SERVER	17
5.5. OPENSIFT	18
5.6. DECISION MODEL AND NOTATION	18
第6章 RED HAT DECISION MANAGER 7.2.1 で修正された問題 .....	19
6.1. DECISION CENTRAL	19
6.2. デシジョンエンジン	19
付録A バージョン情報 .....	20



## はじめに

本書では、Red Hat Decision Manager 7.2 の新規機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、および修正された問題を説明します。

## 第1章 製品の概要

Red Hat Decision Manager は、ビジネスルール管理、複合イベント処理、Decision Model & Notation (DMN) 実行、およびプランニングの問題を解決する Business Optimizer を組み合わせた、オープンソースの意思決定管理プラットフォームです。これにより、ビジネス上の意思決定を自動化し、そのロジックをビジネス全体で利用できるようにします。

ルール、デシジョンテーブル、および DMN モデルなどのビジネスアセットは、集中リポジトリに保存されます。これにより、ビジネス全体で一貫性や透明性を維持し、監査を行えます。ビジネスユーザーは、IT 担当者からのサポートなしでビジネスロジックを編集できます。

Red Hat Decision Manager 7.2 では安定性が増し、問題がいくつか修正され、新機能がいくつか追加されています。

Red Hat Decision Manager は OpenShift 上で完全にサポートされ、各種プラットフォームにインストールできます。



### 注記

Red Hat Decision Manager は、Java 8 以降が必要になります。

Red Hat Decision Manager のサポートポリシーの詳細は、[Release maintenance plan for Red Hat Decision Manager 7.x and Red Hat Process Automation Manager 7.x](#) を参照してください。



## 第2章 新機能

本セクションでは、Red Hat Decision Manager 7.2 の新機能について説明します。

### 2.1. コンテナのサポート

Red Hat JBoss Web Server 5.0.1 以降に Red Hat Decision Manager をインストールできます。

Red Hat JBoss EAP 7.2 に Red Hat Decision Manager をインストールできます。



#### 注記

Red Hat JBoss EAP 7.1 は Red Hat Decision Manager 7.2 ではサポートされません。

### 2.2. ビジネスアプリケーションジェネレーター

<http://start.jbpm.org> の Web サイトを使用して、Spring Boot スターターに基づいて Red Hat Decision Manager ビジネスアプリケーションを生成できます。ビジネスアプリケーションを作成して設定した後は、OpenShift で、既存のサービスやクラウドにデプロイできます。

### 2.3. DECISION CENTRAL

#### 2.3.1. 実験的プロパティ管理ページ

Decision Central に実験的機能管理ページが追加されました。このページは、デフォルトでは無効かつ非表示になっています。有効にすると、このページにテクノロジープレビュー機能である実験的機能のリストが表示されます。このページから個々の機能を有効または無効にできます。実験的機能管理ページを有効にするには、**appformer.experimental.features** プロパティの値を **true** に設定します。



#### 注記

一部の実験的機能はデフォルトで有効になっており、実験的プロパティ管理ページに表示されていない可能性があります。

#### 2.3.2. SSH キーストアのサポート

Red Hat Decision Manager は、ユーザー認証に SSH プロトコルを使用します。設定可能なデフォルトの SSH キーストア (複数の公開鍵を登録可能)、拡張可能な API (カスタム実装用)、および複数の SSH 公開鍵形式のサポートが追加されました。

SSH キーストアの詳細は、[Decision Central の設定とプロパティの設定](#) を参照してください。

### 2.4. デシジョンエンジン

#### 2.4.1. ルールユニット

Red Hat Decision Manager 7.2 は、ルールユニットをサポートするようになりました。ルールユニットを使用すると、ルールセットを小さなユニットに分割し、それらのユニットにさまざまなデータソースをバインドしてから、個々のユニットを実行できます。ルールユニットは、データソース、グローバル変数、およびルールで設定されます。

以下の例のように **RuleUnit** インターフェイスを実装することで、ルールユニットを定義できます。

### ルールユニットクラスの例

```
package org.mypackage.myunit;

public static class AdultUnit implements RuleUnit {
    private int adultAge;
    private DataSource<Person> persons;

    public AdultUnit( ) {}

    public AdultUnit( DataSource<Person> persons, int age ) {
        this.persons = persons;
        this.age = age;
    }

    // A DataSource of Persons in this rule unit
    public DataSource<Person> getPersons() {
        return persons;
    }

    // A global variable valid in this rule unit
    public int getAdultAge() {
        return adultAge;
    }

    // --- life cycle methods

    @Override
    public void onStart() {
        System.out.println("AdultUnit started.");
    }

    @Override
    public void onEnd() {
        System.out.println("AdultUnit ended.");
    }
}
```

ルールユニットの詳細は、[Drools のドキュメント](#) を参照してください。

### 2.4.2. デシジョンエンジンでのマルチスレッド評価

Red Hat Decision Manager 7.2 では、RETE および PHREAK パターンマッチングアルゴリズムを独立したパーティションに分割し、それらを並行して評価することで、デシジョンエンジンがより多くのビジネスルールを並行して評価できるようになりました。

マルチスレッド評価は、Red Hat Decision Manager ではデフォルトで無効になっています。並行 KIE ベースのマルチスレッド評価を有効にするには、以下のいずれかのオプションを使用します。

- **KieBaseConfiguration** を使用してマルチスレッド評価を有効化:

```
KieServices ks = KieServices.Factory.get();
KieBaseConfiguration kieBaseConf = ks.newKieBaseConfiguration();
```

```
kieBaseConf.setOption(MultithreadEvaluationOption.YES);
KieBase kieBase = kieContainer.newKieBase(kieBaseConf);
```

- マルチスレッド評価のシステムプロパティを有効化:

```
drools.multithreadEvaluation = true
```



### 警告

クエリー、顕著性、またはアジェンダグループを使用するルールは現在、並行デシジョンエンジンではサポートされていません。これらのルールの要素が KIE ベースに存在する場合、コンパイラーは警告を発生し、自動的にシングルスレッドの評価に切り替えます。しかし、ケースによっては、デシジョンエンジンはサポートされていないルールの要素を検出できず、ルールが間違っ評価される可能性があります。たとえば、ルールが DRL ファイル内のルールの順序によって与えられた暗黙の顕著性に依存する場合は、デシジョンエンジンが検出できない可能性があります、その結果、サポートされていない顕著性の属性により、間違っ評価となります。

### 2.4.3. KIE セッションでカレンダーを宣言的に設定する機能

Red Hat Decision Manager 7.2 では、以下の例に示すように、**kmodule.xml** 設定ファイルを使用して、KIE セッションで1つ以上のカレンダーを宣言的に設定できるようになりました。

```
<ksession name="KSession1">
  <calendars>
    <calendar name="monday" type="org.domain.Monday"/>
  </calendars>
</ksession>
```

タイプは、**org.kie.api.time.Calendar** インターフェイスを実装するクラスの名前です。

## 2.5. DECISION SERVER

### 2.5.1. Decision Manager コントローラー REST API 用の Swagger インターフェイス

Red Hat Decision Manager 7.2 は、Decision Manager コントローラー REST API 用の Swagger Web インターフェイスを提供します。スタンドアロンの REST クライアントや curl ユーティリティの代わりに、この Swagger インターフェイスを使用して、Red Hat Decision Manager で Decision Server テンプレート (設定)、Decision Server インスタンス (リモートサーバー)、および関連する KIE コンテナ (デプロイメントユニット) を操作できます。

Decision Manager コントローラー REST API 用の Swagger インターフェイスにアクセスするには、ビルトインの Decision Manager コントローラーが含まれる Decision Central を起動するか、ヘッドレス Decision Manager コントローラーアプリケーションを実行して Web ブラウザーで **http://SERVER:PORT/CONTROLLER/docs** に移動します。

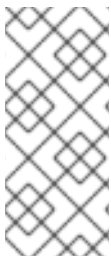
Swagger URL の例:

- <http://localhost:8080/decision-central/docs> (Decision Central の Decision Manager コントローラーの場合)
- <http://localhost:8080/my-controller/docs> (ヘッドレス Decision Manager コントローラーの場合)

Decision Manager コントローラー REST API についての詳細は、[KIE API を使用した Red Hat Decision Manager の操作](#) を参照してください。

## 2.5.2. DMN (Decision Model and Notation) モデル

Red Hat Decision Manager 7.2 は、適合レベル 3 の DMN 1.2 モデルに対するデザインとランタイムの両方のサポートを提供し、FEEL と DMN モデルコンポーネントの機能拡張とフィクスが含まれており、Red Hat Decision Manager での DMN デザインサービスの実装が最適化されます。Decision Central で直接 DMN モデルを設計したり、既存の DMN モデルを Red Hat Decision Manager プロジェクトにインポートしたりして、デプロイメントや実行が可能です。



### 注記

Red Hat Decision Manager 7.2 の DMN デザイナーはテクノロジープレビュー機能で、デフォルトでは Decision Central で無効になっています。Decision Central で DMN デザイナーを有効にするには、ウィンドウ右上で **Settings** → **Roles** とクリックし、左側のパネルからロールを選択し、**Editors** → **DMN Designer** → **Read** とクリックしてから **Save** をクリックして変更を保存します。

Red Hat Decision Manager 7.2 での DMN サポートの詳細は、[DMN モデルを使用したデシジョンサービスの作成](#) を参照してください。

## 2.5.3. Decision Model and Notation (DMN) プロジェクトの実行可能モデル

Red Hat Decision Manager 7.2 では、**kie-maven-plugin** ビルドコンポーネントを使用して DMN 実行可能モデルクラスを生成し、それらを Red Hat Decision Manager プロジェクト (KJAR ファイル) でコンパイルできるようになりました。DMN 実行可能モデルクラスは、ルールアセットに使用される実行可能ルールモデルに似ています。このサポートにより、DMN プロジェクトの DMN デシジョンテーブルロジックをより効率的に評価できます。

DMN プロジェクトで実行可能モデルを有効にするには、必要な **kie-dmn-core** 依存関係を **pom.xml** ファイルに追加します。

```
<dependency>
  <groupId>org.kie</groupId>
  <artifactId>kie-dmn-core</artifactId>
  <scope>provided</scope>
</dependency>
```

DMN モデルのコンパイルを有効にして DMN プロジェクトをビルドするには、コマンドターミナルで Maven プロジェクトディレクトリーに移動し、以下のコマンドを実行します。

```
mvn clean install -DgenerateDMNModel=YES
```

または、DMN モデルプロパティを **pom.xml** ファイルで直接定義することもできます。

```
<project>
  ...
```

```
<properties>
  <generateDMNModel>YES</generateDMNModel>
</properties>
...
</project>
```

Maven または Java プロジェクトの実行可能モデルの設定に関する詳細は、[Red Hat Decision Manager プロジェクトのパッケージ化およびデプロイ](#) を参照してください。

#### 2.5.4. Decision Server での KIE コンテナの非アクティブ化

Decision Server で KIE コンテナを非アクティブ化できるようになりました。これにより、既存のプロセスインスタンスおよびタスクで作業を継続しながら、指定したコンテナからの新規プロセスインスタンスの作成を停止できます。非アクティブ化したコンテナは、再度アクティブ化できます。この機能は、サーバーの再起動を必要としません。

#### 2.5.5. Decision Server のフォームレンダリングのサポート

Decision Server のフォームレンダリングのサポート追加により、Decision Server と対話して以下の操作を実行できます。

- プロセスフォームのレンダリング: 新しいインスタンスを起動するために使用します。
- ケースフォームのレンダリング: データおよびロールの割り当てなど、新しいケースインスタンスを起動するために使用します。
- ユーザータスクフォームのレンダリング: ライフサイクル操作など、ユーザータスクを操作するために使用します。

レンダリングされたフォームには、コンテキストに基づいてすべての操作を実行するボタンが含まれています。たとえば、ユーザータスクが **progress** 状態にある場合は、**Stop** ボタン、**Release** ボタン、**Save** ボタン、および **Complete** ボタンを使用してプロセスを操作できます。

## 2.6. RED HAT BUSINESS OPTIMIZER

### 2.6.1. 制約の重みの定義

Red Hat Business Optimizer では、**@ConstraintsConfiguration** アノテーションでマークされたクラス内で制約の重みを定義できるようになりました。制約の Java または DRL 名によって重みを制約に割り当てることができます。制約のコードを変更する必要はありません。

## 2.7. OPENSIFT

### 2.7.1. OpenShift デプロイメントでの LDAP ロールマッピング

Red Hat OpenShift Container Platform に Red Hat Decision Manager をデプロイするときに、LDAP ロールマッピングを設定できるようになりました。

### 2.7.2. イミュータブル OpenShift デプロイメントでの KJAR サービス

イミュータブルデプロイメントで Red Hat OpenShift Container Platform に Red Hat Decision Manager をデプロイする場合、ソースからではなく、KJAR ファイルからサービスを実行する Decision Server を作成できるようになりました。

### 2.7.3. OpenShift でのトライアルデプロイメントにおける CORS のサポート

Red Hat OpenShift Container Platform でのトライアルデプロイメントで、別のドメインから提供されるクライアント側の JavaScript アプリケーションを使用して、Decision Server にアクセスできます。

## 第3章 テクノロジープレビュー

本セクションでは、Red Hat Decision Manager 7.2 のテクノロジープレビュー機能について説明します。Decision Central には、デフォルトで無効になっている実験的機能管理ページが含まれています。このページを有効にするには、**appformer.experimental.features** プロパティの値を **true** に設定します。



### 重要

本章の機能はテクノロジープレビュー機能です。テクノロジープレビュー機能は、Red Hat の実稼働環境でのサービスレベルアグリーメント (SLA) ではサポートされておらず、機能的に完全ではない可能性があるため、Red Hat では実稼働環境での使用を推奨していません。これらの機能は、今後の製品機能への早期アクセスを提供することで、お客様が機能をテストし、開発プロセス中にフィードバックを提供できるようにしています。

Red Hat のテクノロジープレビュー機能のサポートの詳細は、[テクノロジープレビュー機能のサポート範囲](#) を参照してください。

- Decision Central の新しい Decision Model and Notation (DMN) デザイナー。Decision Central の新しい DMN デザイナーを使用すると、DMN 意思決定要件ダイアグラム (DRD) を設計し、完全で機能的な DMN 意思決定モデルの意思決定論理を定義できます。Red Hat Decision Manager 7.2 は、適合レベル 3 の DMN 1.2 モデルに対するデザインとランタイムの両方のサポートを提供し、FEEL と DMN モデルコンポーネントの機能拡張とフィクスが含まれており、Red Hat Decision Manager での DMN デザインサービスの実装が最適化されます。Red Hat Decision Manager 7.2 での DMN サポートの詳細は、[DMN モデルを使用したデシジョンサービスの作成](#) を参照してください。
- OptaWeb 従業員勤務表。
- Red Hat JBoss EAP での高可用性オーサリング (オンプレミスおよび OpenShift)。Decision Central の高可用性設定は現在、テクノロジープレビュー機能となっています。Business Central で高可用性を設定することは現在テクノロジープレビュー機能となっています。この機能の提供は継続されますが、Red Hat Decision Manager では今後この技術を別のものに置き換える可能性があります。
- 新しいテストシナリオ (プレビュー) エディター。テストシナリオを追加して、以前に作成したルール、デシジョンテーブルなどの正確性を検証できます。

## 第4章 既知の問題

本セクションでは、Red Hat Decision Manager 7.2 における既知の問題について説明します。

### 4.1. インストーラー

Red Hat Decision Manager インストーラーを使用して Decision Server と Decision Central をインストールした場合、コントローラー URL のデフォルトのプレースホルダーに `decision-central` が含まれるはずである [RHPAM-1774]

問題: Red Hat Decision Manager インストーラーを使用して Decision Central と Decision Server の両方をインストールすると、**Advanced Configuration** ページの Decision Server のデフォルト値が正しくならない。

問題の再現手順:

1. インストーラーを使用して、Red Hat JBoss EAP に Red Hat Decision Manager をインストールします。
2. デフォルトの選択項目をすべて受け入れます。
3. **Advanced Configuration** ページで **Configure Process Server** を選択します。

期待される結果: Decision Server URL の値が `http://localhost:8080/decision-central/rest/controller` となる。

実際の結果: Decision Server URL の値が `http://localhost:8080/controller/rest/controller` となる。

回避策: インストールの完了後、Red Hat JBoss EAP の `standalone.xml` および `standalone-full.xml` ファイルで `http://localhost:8080/controller/rest/controller` を `http://localhost:8080/decision-central/rest/controller` に変更します。

**Decision Server のみがインストールされた場合、コントローラー URL が `standalone.xml` ファイルで更新されない [RHPAM-1781]**

問題: Red Hat Decision Manager インストーラーを実行してコントローラーの URL を指定すると、Red Hat JBoss EAP の `standalone.xml` と `standalone-full.xml` ファイルで URL が更新されない。

問題の再現手順:

1. Red Hat Decision Manager インストーラーを実行します。
2. コンテナ用 Red Hat JBoss EAP のインストールを指定します。
3. Process Server のインストールのみを選択します。
4. **Advanced Configuration** を選択し、コントローラー URL を更新します。
5. インストールを完了します。
6. Red Hat JBoss EAP `standalone.xml` または `standalone-full.xml` ファイルを開き、コントローラー URL を確認します。

期待される結果: コントローラー URL プロパティの値がインストール中に入力した URL になっている。

実際の結果: コントローラー URL プロパティの値がデフォルト値になっている。



回避策: Red Hat JBoss EAP **standalone.xml** と **standalone-full.xml** のファイルで、コントローラー URL プロパティの値を手動で更新します。

## 4.2. DECISION CENTRAL

**Red Hat Decision Central 7.0 以前および BRMS 6.4 以前のリポジトリが、Decision Central にインポートされたときに完全に移行されない [RHPAM-1768]**

問題: 複数のプロジェクトを含む Red Hat Decision Central 7.0 以前および BRMS 6.4 以前のリポジトリ (レガシー構造のリポジトリ) は、サポートされていなくても、Decision Central にインポートできます。これらのリポジトリをインポートすると、完全には移行されず、期待どおりに動作しません。

問題の再現手順:

1. Red Hat Decision Manager 7.0.0 以前で、2つのプロジェクトを含むリポジトリを作成します。
2. **.niojit** ディレクトリからリポジトリの場所をコピーします。
3. Red Hat Decision Manager 7.2.0 を開きます。
4. **Library** → **Import Project** をクリックします。
5. リポジトリの場所を貼り付けて、両方のプロジェクトを選択します。

実際の結果: プロジェクトはインポートされるが、期待どおりに動作しない。

回避策: [Red Hat Decision Manager 7.2 の修正およびアップグレード](#) で説明されているように、パッチおよびアップグレードツールを使用して、Red Hat Decision Central 7.0 以前および BRMS 6.4 以前のリポジトリをインポートします。

**クラスター化された Decision Central にログインすると、TimeoutException エラーが発生する [RHPAM-1749]**

問題: クラスター化された Decision Central インスタンスで Decision Central にログインすると、例外が発生する。

問題の再現手順:

1. ElasticSearch と AMQ Broker を使用し、2つのスタンドアロンの Decision Central ノードを持つ Decision Central クラスター設定を作成します。
2. 両方の Decision Central ノードで **<distributed/>** タグのコメントを解除します。
3. いずれかのノードで Decision Central にログインします。

実際の結果: 例外が発生する。

回避策: [JBoss EAP 7 はセッションのリクエストを並行処理しない](#) の記事の回避策を参照してください。

**Red Hat Single Sign-On と統合された Red Hat Decision Manager が、Git での作業時にユーザー SSH キーを無視する [RHPAM-1683]**

問題: Red Hat Single Sign-On と統合された Red Hat Decision Manager を使用して、SSH キーセットを持つユーザーが作成したプロジェクトのクローンを作成しようとすると、SSH キーのパスワードを使用しない限り、クローンを作成できない。SSH キーが無視される。

問題の再現手順:

1. [Red Hat Decision Manager と Red Hat Single Sign-On の統合](#)の説明に従って、Red Hat Decision Manager インストールを Red Hat Single Sign-On と統合します。
2. Red Hat Decision Manager の **Admin** → **SSH Keys** ページを使用して、公開 SSH キーを追加します。
3. ターミナルで以下のコマンドを入力して、SSH 秘密鍵を **ssh-agent** に追加します。<SSH-KEY-PATH> は SSH 秘密鍵へのパスです。

```
$ ssh-add <SSH-KEY-PATH>
```

4. 以下のように、SSH を使用してプロジェクトのクローンを作成します。

```
git clone ssh://user@localhost:8001/space/project
```

期待される結果: プロジェクトのクローンが作成される。

実際の結果: ユーザーのパスワードを使用しない限り、プロジェクトのクローンを作成できない。

### いくつかの Errai プロジェクトに XSD で無効な pom.xml ファイルが含まれている [[RHPAM-1742](#)]

問題: Maven リポジトリの検証で、Errai プロジェクトの以下の **pom.xml** ファイルは Maven POM XSD によると無効であると確認された。

```
org/jboss/errai/errai-ioc/4.4.1.Final-redhat-00001/errai-ioc-4.4.1.Final-redhat-00001.pom.xml
org/jboss/errai/errai-navigation/4.4.1.Final-redhat-00001/errai-navigation-4.4.1.Final-redhat-00001.pom.xml
org/jboss/errai/errai-security-server/4.4.1.Final-redhat-00001/errai-security-server-4.4.1.Final-redhat-00001.pom.xml
org/jboss/errai/errai-security-client/4.4.1.Final-redhat-00001/errai-security-client-4.4.1.Final-redhat-00001.pom.xml
org/jboss/errai/errai-common/4.4.1.Final-redhat-00001/errai-common-4.4.1.Final-redhat-00001.pom
```

回避策: なし。

### kie-soup-dataset-elasticsearch は XSD で無効な pom.xml ファイルである [[RHPAM-1743](#)]

問題: Maven リポジトリの検証で、**kie-soup-dataset-elasticsearch pom.xml** ファイルは Maven POM XSD によると無効であると確認された。

回避策: なし。

### Decision Central の Data Sources パースペクティブを初めて開いたときに、2つの **ClassNotFoundException** エラーが発生する [[RHPAM-1741](#)]

問題: クリーンインストール後に初めて Decision Central の **Data Sources** パースペクティブにアクセスすると、以下の **ClassNotFoundException** エラーが **server.log** ファイルに表示される。

```
org.guvnor.structure.repositories.NewBranchEvent  
org.guvnor.structure.repositories.RepositoryUpdatedEvent
```

問題の再現手順:

1. **admin** ロールで Decision Central にログインします。
2. **Admin** → **Datasources** に移動します。

実際の結果: **Data Sources** パースペクティブをクリックするとすぐに、Red Hat JBoss EAP コンソールに2つのエラーが表示されます。

期待される結果: エラーは表示されない。

回避策: Decision Central を再起動し、**Admin** → **Datasources** に移動します。これらのエラーは、インストール後に初めてパースペクティブをクリックしたときのみ表示されます。

### 4.3. DECISION SERVER

コンテナを停止できない場合でも、コンテナが UI から削除される [RHPAM-1698]

問題: コンテナは、アクティブなプロセスインスタンスによってブロックされている場合、停止できない。しかし、ブロックされたコンテナを UI から停止しようとする、アクションが例外を出力し、コンテナが消える。

問題の再現手順:

1. プロセスを含むプロジェクトを作成します。
2. プロジェクトをデプロイし、プロセスを開始します。
3. **Menu** → **Deploy** → **Execution Servers** に移動し、コンテナを停止します。

実際の結果: コンテナがまだ実行中であっても、コンテナは UI から削除される。

### 4.4. OPENSIFT

OpenShift でクラスター化された Decision Central を起動すると、さまざまなエラーが発生する [RHPAM-1747]

問題: **rhpm72-authoring-ha.yaml** テンプレートを使用してクラスター化された Decision Central を OpenShift で起動すると、Decision Central がさまざまな例外を出力して、Pod の再起動やデプロイメントの失敗を引き起こすことがある。

問題の再現手順:

1. **rhpm72-authoring-ha.yaml** テンプレートを使用して、Red Hat Decision Manager 7.2 イメージを OpenShift にデプロイします。
2. Decision Central のログファイルを確認します。

期待される結果: ログファイルにエラーが表示されない。

実際の結果: ログファイルにエラーが表示されるか、Pod が再起動するか、デプロイメントが失敗する。

回避策: なし。

## 第5章 RED HAT DECISION MANAGER 7.2.0 で修正された問題

Red Hat Decision Manager 7.2.0 では安定性が増し、本セクションに挙げる問題が修正されました。

### 5.1. インストールシステム

- Red Hat Decision Manager インストーラーが Red Hat JBoss EAP 7.2 の **jboss-cli.xml** ファイルの解析に失敗し、インストールが失敗する [[RHPAM-1658](#)]

### 5.2. DECISION CENTRAL

- 既存のデプロイメント記述子設定を編集できない [[RHPAM-1318](#)]
- プロセスインスタンスのページで、ウィンドウ幅を変更すると垂直スクロールバーがちらつく [[RHPAM-1475](#)]
- レガシーケースモデラーを開くと、JSON 例外が発生する [[RHPAM-1431](#)]
- Red Hat Decision Manager のタスクリストに正しくない相関キーが表示される [[RHPAM-1656](#)]
- Decision Central の **タスク** 受信箱からタスクフォームを開くことができない [[RHPAM-1565](#)]
- データセットエディターで、**supports expression reference \$null** メッセージがヒントとして表示される [[RHPAM-1581](#)]
- **Asset** 検索ボタンが正しく配置されていない [[RHPAM-1538](#)]
- Decision Central にファイルをアップロードするためのフォームの入力フィールドが整列されていない [[RHDM-4](#)]
- テストシナリオで、EXPECTATION 設定の **xlsx** で定義されたルールを選択できない [[RHDM-728](#)]
- ページ分割されたビューの設定オプションを提供する [[RHDM-1339](#)]
- Red Hat Decision Manager で Decision Server の CORS 設定サポートを提供する [[RHDM-520](#)]

### 5.3. デシジョンエンジン

- **SessionConfigurationImpl.java** で **ThreadSafeTrackableTimeJobFactoryManager** がデフォルトとして設定される [[RHDM-759](#)]
- **SpreadsheetCompiler** が DRL ファイルに誤った条件の順序を生成する [[RHDM-755](#)]
- **DebugRuleRuntimeEventListener.java** のロガーカテゴリーが正しくない [[RHDM-769](#)]

### 5.4. DECISION SERVER

- KieScanner の更新時に Decision Server のマーシャラーが古いクラスを保持する [[RHDM-733](#)]
- ランタイム時にクエリ定義のデータソース名を解決する [[RHPAM-1350](#)]
- KIE コンテナでエラーを取得するための REST エンドポイントが、コンテナ ID で結果をフィルタリングしない [[RHPAM-1599](#)]

- Decision Server Swagger ドキュメントページの下部にエラーメッセージが表示される [RHPAM-1487]
- **vacuumlo** が jBPM CLOB データのアクティブな大きなオブジェクトを削除する [RHPAM-174]
- **DBUserGroupCallbackImpl** に必要なパラメーターが設定されていない場合、誤ったメッセージが表示される [RHPAM-1496]
- **ExecutorServiceImpl.requeue (Long olderThan)** が正しい値を計算しない [RHPAM-1605]
- jBPM の悲観的ロックで "nowait" を使用せずにロックできる [RHPAM-1573]
- プロセスインスタンスの非同期ジョブの実行中に移行サービスを実行すると、移行サービスは正常に終了するが、ジョブは **AsyncWorkItemHandlerCmdCallback.onCommandDone()** で失敗する [RHPAM-1510]
- **java.lang.ClassCastException: java.lang.Class** を **org.kie.api.event.rule.RuleRuntimeEventListener** にキャストできない [RHPAM-1626]

## 5.5. OPENSIFT

- マルチモジュールの Maven プロジェクトで S2I ビルドが失敗する [RHDM-747]
- Decision Central を配布して高可用性を実現する [RHPAM-1522]

## 5.6. DECISION MODEL AND NOTATION

- DMN v1.2 モデルのインポートが **com.thoughtworks.xstream.mapper.CannotResolveClassException** で失敗する [RHDM-618] [RHPAM-1198]

## 第6章 RED HAT DECISION MANAGER 7.2.1 で修正された問題

Red Hat Decision Manager 7.2.1 では安定性が増し、本セクションに挙げる問題が修正されました。

### 6.1. DECISION CENTRAL

- BRL 条件 **is contained in the (comma separated) list** が、ガイド付きデシジョンテーブルまたはガイド付きルールテンプレートで複数選択ドロップダウンを生成しない [[RHDM-483](#)]

### 6.2. デシジョンエンジン

- JBDS で **kie-maven-plugin** の 7.1.x バージョンを使用すると、エラーが発生する [[RHDM-802](#)]
- RHS で static メソッドを呼び出すと、インクリメンタルコンパイルが失敗する [[RHDM-709](#)]

## 付録A バージョン情報

本書の最終更新日: 2021年11月15日(月)